

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-151312

(43)Date of publication of application : 23.05.2003

(51)Int.Cl. F21S 8/10

B60R 13/00

G09F 13/16

// F21Y101:00

(21)Application number : 2001-337899

(71)Applicant : THREE M INNOVATIVE
PROPERTIES CO

(22)Date of filing : 02.11.2001

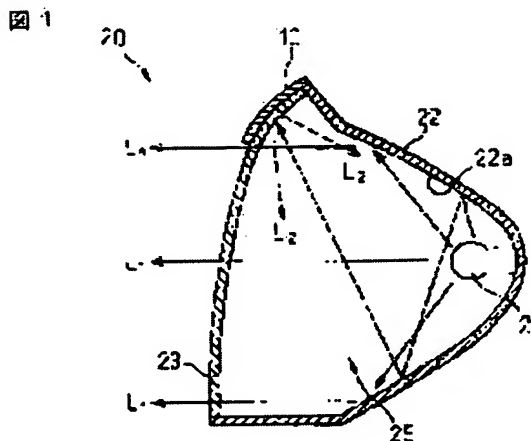
(72)Inventor : EGASHIRA KEN
MURAOKA SHIGEAKI
NITTA HIROFUMI

(54) ORNAMENT AND VEHICULAR LAMP EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an ornament usable in combination with an article having a light source and capable of greatly increasing ornamental effects in cooperation with the light source.

SOLUTION: The ornament mounted in use on the article having the light source comprises, at least, an appearance granting layer for specifying the appearance of the ornament and a light storing layer located thereunder for storing a light from the light source and producing a residual light.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.10.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-337899
(P2001-337899A)

(43) 公開日 平成13年12月7日 (2001.12.7)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	テームコード (参考)
G 0 6 F 13/00	6 1 0	G 0 6 F 13/00	6 1 0 E 5 K 0 3 0
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B
12/58			

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-153774(P2000-153774)

(22) 出願日 平成12年5月24日 (2000.5.24)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 石原 由晴

静岡県浜松市元城町216-18 株式会社松

下通信静岡研究所内

(74) 代理人 100105050

弁理士 鷲田 公一

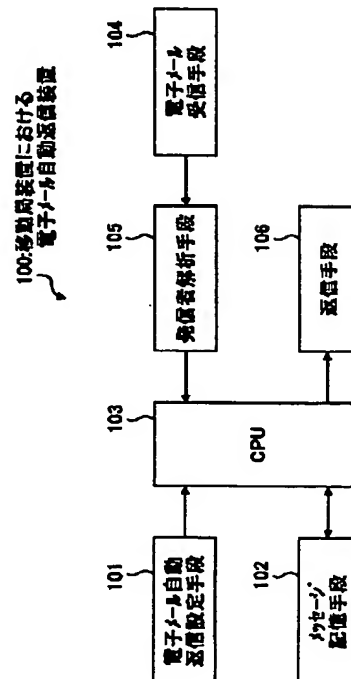
Fターム (参考) 5K030 GA17 HA06 HC09 JT09 KA08
LD12

(54) 【発明の名称】 電子メール自動返信装置及び電子メール自動返信方法

(57) 【要約】

【課題】 電子メールの受信時に、受信者が返信できない状況でも発信者を待たせることなくリアルタイムで応答すること。

【解決手段】 電子メール自動返信設定手段101で、電子メールの自動返信を行うか否かを設定すると共に、自動返信設定時にメッセージを設定する。CPU103で、その設定されたメッセージをメッセージ記憶手段102に記憶する。発信者解析手段105で、電子メール受信手段104で受信された電子メールから発信者の電子メールアドレスを検出する。CPU103で、その電子メールアドレスと記憶メッセージとを組み合わせ、返信手段106で、その電子メールアドレスへメッセージを送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールの自動返信を行うか否かを設定すると共に、前記自動返信設定時にメッセージを設定する設定手段と、前記設定されたメッセージを記憶する第1記憶手段と、受信電子メールから発信者の電子メールアドレスを検出する解析手段と、前記電子メールアドレスと前記記憶されたメッセージとを組み合わせる制御手段と、前記組み合わせられた電子メールアドレスへメッセージを送信する送信手段と、を具備することを特徴とする電子メール自動返信装置。

【請求項2】 返信先電子メールアドレスを記憶する第2記憶手段と、解析手段からの発信者の電子メールアドレスと、前記記憶された返信先電子メールアドレスとを比較し、双方が一致するか否かを判定する比較手段とを具備し、制御手段が、前記比較手段で双方が一致すると判定された際に、前記発信者の電子メールアドレスとメッセージとを組み合わせる処理を行うことを特徴とする請求項1記載の電子メール自動返信装置。

【請求項3】 画面に表示するキャラクタの情報を複数記憶する第3記憶手段と、前記記憶された複数のキャラクタから任意のキャラクタを選択する第1選択手段と、前記選択されたキャラクタに行わせる動作内容を選択する第2選択手段とを具備し、制御手段が、発信者の電子メールアドレスとメッセージとを組み合わせる処理を行う際に、前記選択された動作内容で動作を行うキャラクタも共に組み合わせることを特徴とする請求項1又は請求項2記載の電子メール自動返信装置。

【請求項4】 請求項1から請求項3いずれかに記載の電子メール自動返信装置を具備することを特徴とする移動局装置。

【請求項5】 電子メールの自動返信を行うか否かを設定し、この際の自動返信設定時にメッセージを設定して記憶し、電子メール受信時に、受信電子メールアドレスへ前記記憶メッセージを送信することを特徴とする電子メール自動返信方法。

【請求項6】 返信先電子メールアドレスを記憶しておき、電子メール受信時、前記記憶アドレスと受信電子メールアドレスとが一致した場合に、受信電子メールアドレスへメッセージを送信することを特徴とする請求項5記載の電子メール自動返信方法。

【請求項7】 画面に静的又は動的に表示するキャラクタ情報を記憶しておき、電子メール受信時に、受信電子メールアドレスへメッセージと共に前記キャラクタ情報を送信することを特徴とする請求項5又は請求項6記載の電子メール自動返信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動体通信システムにおける携帯電話機や、携帯電話機能及びコンピュータ機能を備えた情報端末装置等の移動局装置等に用いら

れ、受信された電子メールに対して自動的に返信を行うことができる電子メール自動返信装置及び電子メール自動返信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の電子メール自動返信装置及び電子メール自動返信方法としては、特開平8-97854号公報に記載されているものがある。

【0003】従来、移動局装置による電子メールのやり取りは、送信時に利用者が移動局装置を操作することによって相手に電子メールを送信し、また、電子メールの受信時に利用者が移動局装置を操作することによって相手に返信を行っていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の装置においては、電子メールを受信した際、その受信したことが待機中の移動局装置に通知されるようになっていたが、移動局装置の利用者が運転中などで操作できない状態にある場合、リアルタイムで応答を行えないという問題がある。

【0005】例えば、電子メールの送信者がリアルタイムで応答を求めるような場合、応答が遅れる程に発信者を困らせることになる。

【0006】本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、電子メールの受信時に、受信者が返信できない状況でも発信者を待たせることなくリアルタイムで応答することができる電子メール自動返信装置及び電子メール自動返信方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の電子メール自動返信装置は、電子メールの自動返信を行うか否かを設定すると共に、前記自動返信設定時にメッセージを設定する設定手段と、前記設定されたメッセージを記憶する第1記憶手段と、受信電子メールから発信者の電子メールアドレスを検出する解析手段と、前記電子メールアドレスと前記記憶されたメッセージとを組み合わせる制御手段と、前記組み合わせられた電子メールアドレスへメッセージを送信する送信手段と、を具備する構成を採る。

【0008】この構成によれば、電子メール受信時に、受信者が返信できない状況でも発信者を待たせることなく自動でリアルタイムに応答することができる。

【0009】本発明の電子メール自動返信装置は、上記構成において、返信先電子メールアドレスを記憶する第2記憶手段と、解析手段からの発信者の電子メールアドレスと、前記記憶された返信先電子メールアドレスとを比較し、双方が一致するか否かを判定する比較手段とを具備し、制御手段が、前記比較手段で双方が一致すると判定された際に、前記発信者の電子メールアドレスとメッセージとを組み合わせる処理を行う構成を採る。

【0010】この構成によれば、電子メール受信時に、予め定めた電子メールアドレスへのみ、自動でリアルタ

ームに応答を行うことができる。

【0011】本発明の電子メール自動返信装置は、上記構成において、画面に表示するキャラクタの情報を複数記憶する第3記憶手段と、前記記憶された複数のキャラクタから任意のキャラクタを選択する第1選択手段と、前記選択されたキャラクタに行わせる動作内容を選択する第2選択手段とを具備し、制御手段が、発信者の電子メールアドレスとメッセージとを組み合わせる処理を行う際に、前記選択された動作内容で動作を行うキャラクタも共に組み合わせる構成を採る。

【0012】この構成によれば、発信者に固有のキャラクタを送信して個人の識別を容易に行わせる等の効果を得ることができる。

【0013】本発明の移動局装置は、上記いずれかと同構成の電子メール自動返信装置を具備する構成を採る。

【0014】この構成によれば、移動局装置において、上記いずれかと同様の作用効果を得ることができる。

【0015】本発明の電子メール自動返信方法は、電子メールの自動返信を行うか否かを設定し、この際の自動返信設定時にメッセージを設定して記憶し、電子メール受信時に、受信電子メールアドレスへ前記記憶メッセージを送信するようにした。

【0016】この方法によれば、電子メール受信時に、受信者が返信できない状況でも発信者を待たせることなく自動でリアルタイムに応答することができる。

【0017】本発明の電子メール自動返信方法は、上記方法において、返信先電子メールアドレスを記憶しておき、電子メール受信時、前記記憶アドレスと受信電子メールアドレスとが一致した場合に、受信電子メールアドレスへメッセージを送信するようにした。

【0018】この方法によれば、電子メール受信時に、予め定めた電子メールアドレスへのみ、自動でリアルタイムに応答を行うことができる。

【0019】本発明の電子メール自動返信方法は、上記方法において、画面に静的又は動的に表示するキャラクタ情報を記憶しておき、電子メール受信時に、受信電子メールアドレスへメッセージと共に前記キャラクタ情報を送信するようにした。

【0020】この方法によれば、発信者に固有のキャラクタを送信して個人の識別を容易に行わせる等の効果を得ることができる。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。

【0022】(実施の形態1)図1は、本発明の実施の形態1に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置の構成を示すブロック図である。

【0023】図1に示す電子メール自動返信装置100は、電子メール自動返信設定手段101と、メッセージ記憶手段102と、CPU103と、電子メール受信手

段104と、発信者解析手段105と、返信手段106とを備えて構成されている。

【0024】電子メール自動返信設定手段101は、利用者が電子メールの自動返信を行うか否かを設定すると共に、行う場合に自動返信のメッセージを設定し、これら設定内容をCPU103へ出力するものである。

【0025】メッセージ記憶手段102は、電子メール自動返信設定手段101で自動返信のメッセージが設定された際に、そのメッセージをCPU103の制御に応じて記憶するものである。

【0026】電子メール受信手段104は、発信者からの電子メールを受信し、発信者解析手段105へ出力するものである。

【0027】発信者解析手段105は、受信電子メールを解析することによって発信者電子メールアドレスを検出し、これをCPU103へ出力するものである。

【0028】CPU103は、上記制御を行うと共に、発信者電子メールアドレスとメッセージ記憶手段102に記憶されたメッセージとを組み合わせ、返信手段106へ出力するものである。

【0029】返信手段106は、発信者電子メールアドレスへメッセージを自動返信するものである。

【0030】このような構成の電子メール自動返信装置100の動作を、図2に示すフロー図を参照して説明する。

【0031】まず、ステップST201において、電子メール自動返信設定手段101は、利用者が電子メールを自動返信する設定を行ったか否かを判定する。この結果、行われていなければ、ステップST202において、CPU103が通常メールモードに設定し、処理を終了する。

【0032】一方、電子メール自動返信設定が行われた場合、ステップST203において、CPU103が自動返信設定時に入力されたメッセージをメッセージ記憶手段102に記憶する。そのメッセージは、例えば「今すぐ応答できない状態にあります」等の受信者が即時返答できないことを発信者に知らせるものとする。

【0033】この後、ステップST204において、CPU103が電子メールの通常待ち受け状態とする。

【0034】次に、ステップST205において、電子メール受信手段104で電子メールが受信されると、ステップST206において、発信者解析手段105が、その受信電子メールを解析することによって発信者電子メールアドレスを検出し、これをCPU103へ出力する。

【0035】ステップST207において、CPU103が、発信者電子メールアドレスとメッセージ記憶手段102に記憶されたメッセージとを組み合わせ、返信手段106へ出力する。

【0036】ステップST208において、返信手段1

06が、発信者電子メールアドレスへメッセージを自動返信する。

【0037】このように、実施の形態1の移動局装置に適用した電子メール自動返信装置100によれば、予め電子メールの自動返信を行うか否かの設定を行うと共に、自動返信設定時には自動返信メッセージを記憶しておく。そして、発信者からの電子メール受信時に、発信者電子メールアドレスを検出し、このアドレスへ記憶メッセージを自動返信するようにした。

【0038】これによって、電子メール受信時に、受信者が返信できない状況でも発信者を待たせることなく自動でリアルタイムに応答することができる。

【0039】(実施の形態2)図3は、本発明の実施の形態2に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置の構成を示すブロック図である。但し、この図3に示す実施の形態2において実施の形態1の図1の各部に対応する部分には同一符号を付し、その説明を省略する。

【0040】図3に示す電子メール自動返信装置300は、図1に示した実施の形態1の構成要素の他に、返信先記憶手段301と、比較手段302とを備えて構成されている。

【0041】返信先記憶手段301は、1つ以上の返信先電子メールアドレスを予め記憶するものである。

【0042】比較手段302は、発信者解析手段105から出力される発信者電子メールアドレスと、予め記憶された返信先電子メールアドレスとを比較し、双方が一致するか否かをCPU103へ通知するものである。

【0043】CPU103は、双方のアドレスが一致する場合に、発信者電子メールアドレスとメッセージ記憶手段102に記憶されたメッセージとを組み合わせ、返信手段106へ出力するものである。

【0044】このような構成の電子メール自動返信装置300の動作を、図4に示すフロー図を参照して説明する。

【0045】まず、ステップST401において、電子メール自動返信設定手段101は、利用者が電子メールを自動返信する設定を行ったか否かを判定する。この結果、行われていなければ、ステップST402において、CPU103が通常メールモードに設定し、処理を終了する。

【0046】一方、電子メール自動返信設定が行われた場合、ステップST403において、CPU103が自動返信設定時に入力されたメッセージをメッセージ記憶手段102に記憶する。そのメッセージは、例えば「今すぐ応答できない状態にあります」等の受信者が即時応答できないことを発信者に知らせるものとする。

【0047】この後、ステップST404において、CPU103が電子メールの通常待ち受け状態とする。

【0048】また、ステップST405において、予め

返信先電子メールアドレスを記憶する操作を行う。これによって、ステップST406において、返信先電子メールアドレスが返信先記憶手段301に記憶される。

【0049】その後、ステップST407において、電子メール受信手段104で電子メールが受信されると、ステップST408において、発信者解析手段105が、その受信電子メールを解析することによって発信者電子メールアドレスを検出し、これを比較手段302へ出力する。

【0050】ステップST409において、比較手段302が、受信された発信者電子メールアドレスと、予め記憶された返信先電子メールアドレスとを比較し、ステップST410において、双方のアドレスが一致するか否かを判定する。

【0051】一致しなければステップST404に戻る。一致すれば、ステップST411において、CPU103が、発信者電子メールアドレスとメッセージ記憶手段102に記憶されたメッセージとを組み合わせ、返信手段106へ出力する。

【0052】そして、ステップST412において、返信手段106が、発信者電子メールアドレスへメッセージを自動返信する。

【0053】このように、実施の形態2の移動局装置に適用した電子メール自動返信装置300によれば、実施の形態1の構成に加え、予め返信先電子メールアドレスを記憶しておき、受信発信者電子メールアドレスと記憶された返信先電子メールアドレスとが一致した場合に、発信者電子メールアドレスへ記憶メッセージを自動返信するようにした。

【0054】これによって、電子メール受信時に、予め定めた電子メールアドレスへのみ、自動でリアルタイムに応答を行うことができる。

【0055】(実施の形態3)図5は、本発明の実施の形態3に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置の構成を示すブロック図である。但し、この図5に示す実施の形態3において実施の形態1の図1の各部に対応する部分には同一符号を付し、その説明を省略する。

【0056】図5に示す電子メール自動返信装置500は、図1に示した実施の形態1の構成要素の他に、キャラクタ記憶手段501と、キャラクタ選択手段502と、キャラクタ動作選択手段503とを備えて構成されている。

【0057】キャラクタ記憶手段501は、画面に表示するキャラクタの情報を複数記憶するものである。

【0058】キャラクタ選択手段502は、記憶された複数のキャラクタから利用者の操作に応じて任意のキャラクタを選択するものである。

【0059】キャラクタ動作選択手段503は、選択されたキャラクタに行わせる動作を選択し、この動作内容

をCPU103へ出力するものである。

【0060】このような構成の電子メール自動返信装置500の動作を、図6に示すフロー図を参照して説明する。

【0061】まず、ステップST601において、電子メール自動返信設定手段101は、利用者が電子メールを自動返信する設定を行ったか否かを判定する。この結果、行われていなければ、ステップST602において、CPU103が通常メールモードに設定し、処理を終了する。

【0062】一方、電子メール自動返信設定が行われた場合、ステップST603において、CPU103が自動返信設定時に入力されたメッセージをメッセージ記憶手段102に記憶する。そのメッセージは、例えば「今すぐ応答できない状態にあります」等の受信者が即時返答できないことを発信者に知らせるものとする。

【0063】この後、ステップST604において、キャラクタ選択手段502が、キャラクタ記憶手段501からキャラクタを選択してキャラクタ動作選択手段503へ出力する。

【0064】ステップST605において、キャラクタ動作選択手段503が、選択されたキャラクタに行わせる動作を選択し、この動作内容をCPU103へ出力する。

【0065】この後、ステップST606において、CPU103が電子メールの通常待ち受け状態とする。

【0066】次に、ステップST607において、電子メール受信手段104で電子メールが受信されると、ステップST608において、発信者解析手段105が、その受信電子メールを解析することによって発信者電子メールアドレスを検出し、これをCPU103へ出力する。

【0067】ステップST609において、CPU103が、発信者電子メールアドレスとメッセージ記憶手段102に記憶されたメッセージ及び動作内容が指示されたキャラクタとを組み合わせ、返信手段106へ出力する。

【0068】ステップST610において、返信手段106が、発信者電子メールアドレスへメッセージ及びキャラクタを自動返信する。

【0069】このように、実施の形態3の移動局装置に適用した電子メール自動返信装置500によれば、電子メールの自動返信時に、メッセージの他に指定された動作を行うキャラクタを自動返信するようにした。

【0070】これによって、実施の形態1と同様の効果

が得られる他、発信者に固有のキャラクタを送信して個人の識別を容易に行わせる等の効果を得ることができる。

【0071】以上の他、図3に示した実施の形態2の構成に、図5に示した実施の形態3の特徴要素であるキャラクタ記憶手段501、キャラクタ選択手段502及びキャラクタ動作選択手段503を組み合わせた構成としても良い。この場合、実施の形態2と3を組み合わせた効果を得ることができる。

10 【0072】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、電子メールの受信時に、受信者が返信できない状況でも発信者を待たせることなくリアルタイムで応答することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置の構成を示すブロック図

20 【図2】実施の形態1に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置による電子メール自動返信の動作を説明するためのフロー図

【図3】本発明の実施の形態2に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置の構成を示すブロック図

【図4】実施の形態2に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置による電子メール自動返信の動作を説明するためのフロー図

【図5】本発明の実施の形態3に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置の構成を示すブロック図

30 【図6】実施の形態3に係る移動局装置に適用した電子メール自動返信装置による電子メール自動返信の動作を説明するためのフロー図

【符号の説明】

100, 300, 500 移動局装置における電子メール自動返信装置

101 電子メール自動返信設定手段

102 メッセージ記憶手段

103 CPU

104 電子メール受信手段

105 発信者解析手段

106 返信手段

40 301 返信先記憶手段

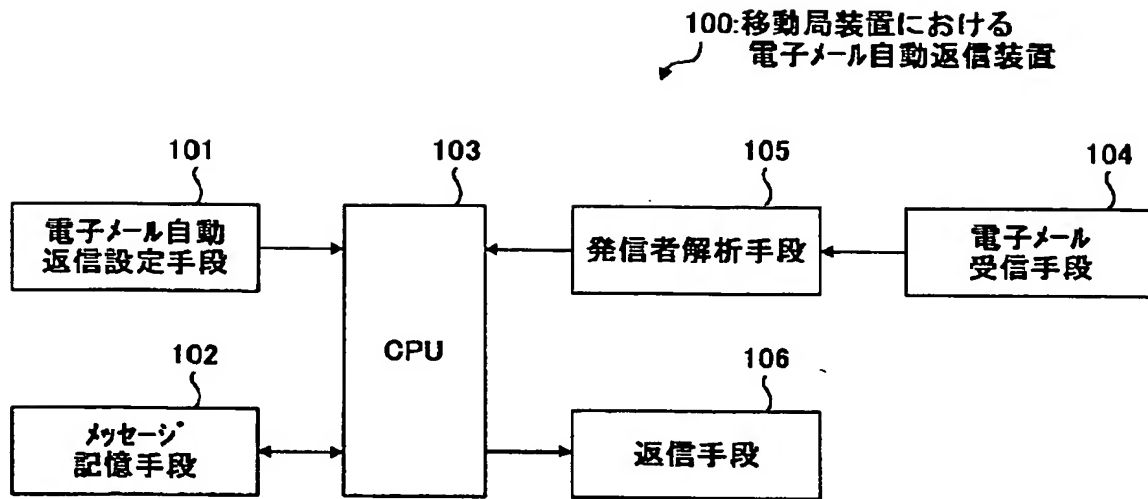
302 比較手段

501 キャラクタ記憶手段

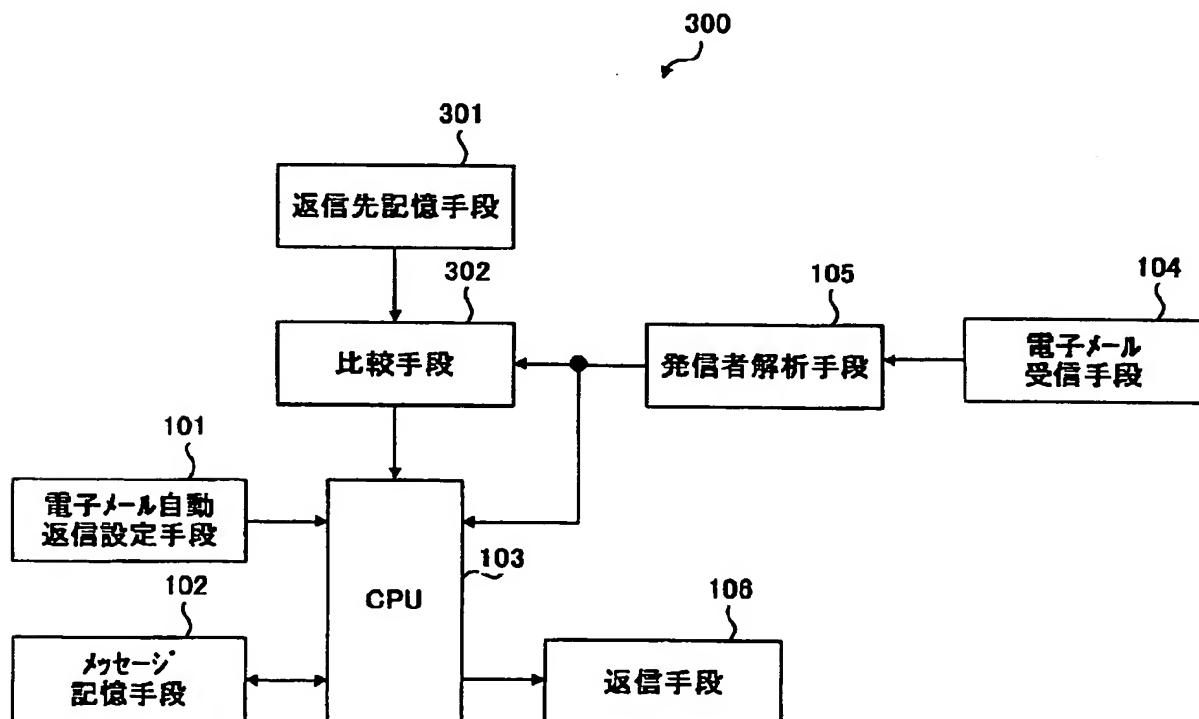
502 キャラクタ選択手段

503 キャラクタ動作選択手段

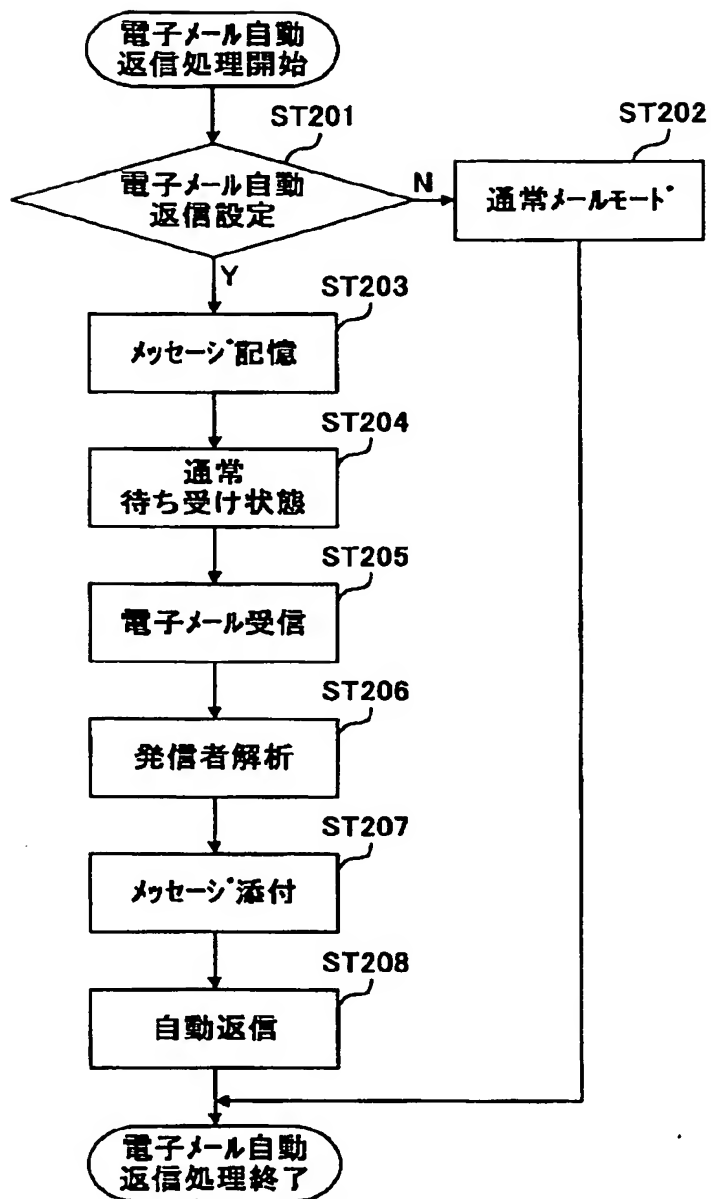
【図1】



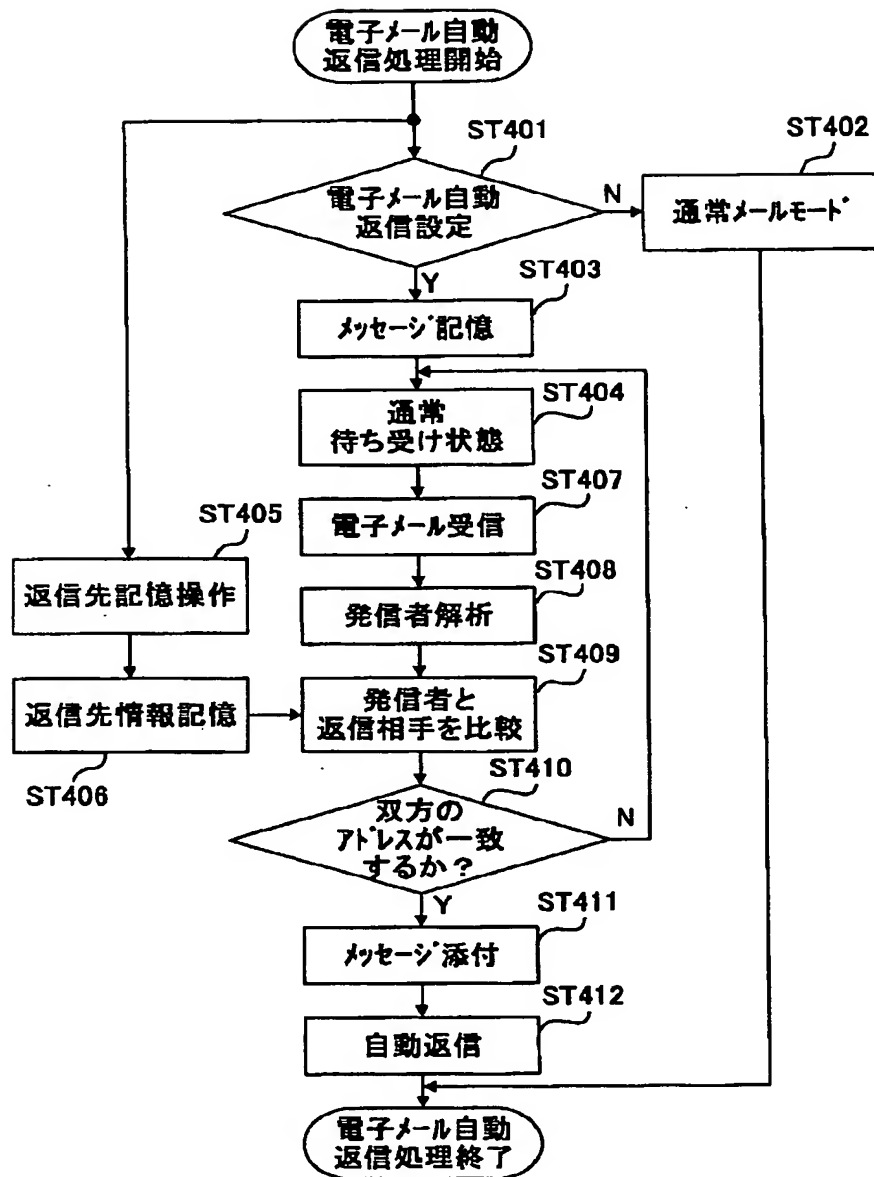
【図3】



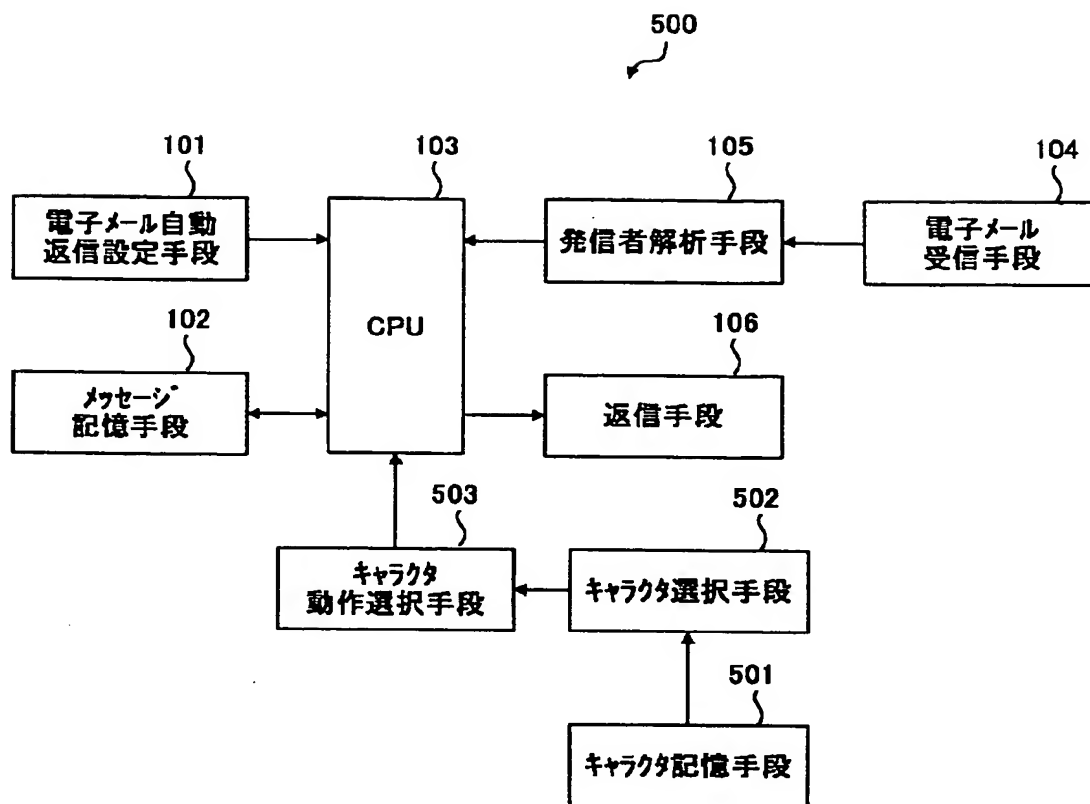
【図2】



【図4】



【図5】



【図6】

